

## ◆ 博物館だより

◇2016（平成28）年11月4日に関西大学創立130周年を迎えるにあたり、創立130周年記念展示会「関西大学のちから」を10月5日から11月14日を会期として、関西大学博物館と大阪歴史博物館の2会場で開催しました。第1会場関西大学博物館では「関西大学のちから～伝統への自信 未来への考動～」を、第2会場大阪歴史博物館8階の特集展示室では「関西大学蔵 本山コレクションの精華」を開催し、会期中第1会場1,784名、第2会場49,920名の方に来場いただきました。



◇2016（平成28）年度ミュージアム講座「本山コレクションの精華—本山彦一と大阪、関西大学—」を3日間大阪歴史博物館にて開講し、70名の方から聴講の申込みをいただきました。

10月9日「本山彦一と近代大阪の新聞事業と文化」

大阪歴史博物館学芸員 船越幹央

10月23日 第1部【講演】「本山コレクションの来歴

—木村兼葭堂・神田孝平・本山彦一—」

宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査官 徳田誠志

第2部【討論】「本山彦一と大阪、大阪毎日新聞、関西大学をめぐって」

パネリスト 徳田誠志、船越幹央

進行 長谷洋一〈関西大学博物館前館長〉

11月6日「本山コレクション パルーの土器の由来」

毎日新聞専門編集委員 佐々木泰造



◇12月4日から9日まで博物館実習展を開催しました。今年度は47名の実習生が「大坂商人の世界」「お金の姿」「明治の装い」「上方の粹もの展～多様性が育んだ美～」の4班に分かれ、博物館学課程の集大成として展示を構成しました。会期中には414名の方にご来場いただきました。

◇2017（平成29）年1月16日から2月28日まで「関西大学と村野藤吾～設計図・建築写真・絵画～」を開催しました。537名の方にご覧いただきました。

◇本年度下半期、古屋芳彦氏より太刀一振（人間国宝 宮入昭平作）、本学校友の遠山慶一氏より「神点 御名」、附札文書「改名窺」計2点、校友廣田琢也氏のご母堂廣田千恵氏からご祖父冬木理紗男氏作、漆芸作品4点、さらに校友藤尾隆志氏から、古文書（三浦内膳宛 井伊兵部少輔書状）1点の寄贈がありました。今後、博物館で充分活用していきたいと考えています。また、伊吹文明氏より、社会貢献事業ならびに教育研究に充当して欲しいとの格別のご厚意を拝受いたしました。

### ．．． 編集後記 ．．．

表紙は、今年の干支にちなんで、本館収蔵の民芸品「にわとり」（笹野一刀彫 山形県米沢市）です。千数百年前から受け継がれてきたアイヌ伝統のイナウ技法による作品で、アブランコというやわらかい木をサルキルという道具で削り、簡単な彩色を施しています。一本の木を切り離さずに作られています。

2017（平成29）年度春季企画展「河内国府遺跡発掘100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」を4月1日から5月21日まで、河内国府遺跡発掘から今年で100周年を記念して開催いたします。また、テーマ展として「関西大学と村野藤吾」を同時に開催いたします。

